

第1学年 組 国語科学習指導案		
平成23年11月*日(*)第6校時 **室 指導者 **・**		
育成する国語の能力	さまざまな文章を読んで、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりすること。	
単元目標	<p>○内容を的確に読み取って、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりしようとする。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○二項対立の文章を叙述に即して読んで、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりしながら内容を理解できる。 (読む能力)</p> <p>○文や文章の組み立て、語句の意味などを理解できる。 (知識・理解)</p>	
単元の評価規準	関心・意欲・態度	知識・理解
	文章を読むことで、自己の考え方を広げたり深めたりしようとしている。	叙述に即して文章を読んで、二項対立のものの見方、考え方をとらえている。
単元の評価規準	文や文章の組み立て、語句の意味などを調べている。	
取り上げる言語活動	自分の考えをもって話し合うこと。	
題材(教材)	評論(一) 山崎正和『水の東西』 改訂版高等学校標準国語総合 第一学習社	
単元(教材)について	<p>(1)教材観：評論文の読み方を身に付けるための入門編である。平易な文体によって書かれており、構成も論旨もはっきりしている。身近なものの特徴をとらえながら思考力を育てることができる。</p> <p>(2)生徒観：授業に取り組む姿勢が積極的で、前時までの本教材の内容を十分に理解している。</p> <p>(3)指導観：自分の考えをもって話し合えるようにするため、ワークシートを利用して自分とグループの考えをまとめさせる。</p>	
指導計画(学習計画)	主な学習活動	主な評価
	<p>1 本文を通読し、「鹿おどし」がどのようなものであるか理解する。</p> <p>2 「噴水」の特徴をつかみ、「鹿おどし」との違いを理解する。</p> <p>3 日本人が「噴水」を作らなかった外面的および内面的な理由を読み取る。</p> <p>4 水に形がないことについての、日本人の独特の好みを理解する。</p> <p>5 「鹿おどし」と「噴水」のどちらに魅力を感じるか根拠をもって考える。</p>	<p>1 本文を通読し、「鹿おどし」がどのようなものであるかとらえている。 (読む能力) 文や文章の組み立て、語句の意味などを調べている。(知識・理解)</p> <p>2 「噴水」の特徴をつかみ、「鹿おどし」との違いを比較しとらえている。 (読む能力)</p> <p>3 日本人が「噴水」を作らなかった外面的および内面的な理由を読み取っている。 (読む能力)</p> <p>4 水に形がないことについての、日本人の独特の好みを理解している。 (読む能力)</p> <p>5 「鹿おどし」と「噴水」のどちらに魅力を感じるか根拠をもって考えている。 (関心・意欲・態度) 水に形がないことについての、日本人の独特の好みを理解している。 (読む能力)</p>

本 時 案 (第5次の第5時)

本時の目標 ○「鹿おどし」と「噴水」のどちらに魅力を感じるか根拠をもって考えている。  
(関心・意欲・態度)  
○水に形がないことについての、日本人の独特の好みを理解している。(読む能力)

学習活動

指導上の配慮事項など

評価・方法など

1 前回までの学習内容について確認する。

○前回までの学習内容について、発問等を通じて確認させる。(T1)

<板書例>

鹿おどし	噴水
流れる水	噴き上げる水
時間的な水	空間的な水
見えない水	目に見える水
日本人	西洋人

○ノートや教科書の該当部分を指示し、授業を受ける準備を整えさせる。(T2)

2 本時の目標の確認

○本時の目標を板書し確認させる。

**「鹿おどし」と「噴水」のどちらに魅力を感じるか、根拠をもって考えよう。**

3 「鹿おどし」と「噴水」のどちらに魅力を感じるか、根拠をもって考える。

○ワークシートを配布し、自分の考えをまとめさせる。特に本文中の日本人像と、現在の高校生である生徒にとっての日本人像の違いを考えさせる。(T1)

(1) 自分の考えをワークシートにまとめる。

○「鹿おどし」に魅力を感じる生徒が少ないことも予想されるため、「鹿おどし」に魅力を感じる日本人像を例示し、考えるきっかけをあたえる(T2)

(2) グループを作って各自の考えを発表し、グループの意見としてまとめる。

○3～4人のグループを作らせ、それぞれ司会と記録、発表の担当を決めさせて、自分の考えを発表させる。(T1)

(3) 筆者の意見と比べる。

○各グループの作業風景を巡回指導し、それぞれ自分の考えを発表しやすいよう声掛けをする。(T2)

(4) まとまった意見を各グループの担当が発表する。

○本文の筆者の意見を再確認させる。  
○筆者の意見と比べさせる。  
○各グループ内で考えをまとめさせ、発表の準備をさせる。(T1)

○巡回指導を行い、積極的な話合いができるよう手助けをする。(T2)

○順番にグループの担当の生徒に発表をさせる。

4 本文を振り返る。

○評論の書かれた時代と現代では、日本人観や日本人の意識も変わってきているということを確認する。(T1)

5 ワークシートをまとめ、提出する。

○巡回指導を行い、ワークシートの記入・提出の手助けをする。(T2)

6 次時の予告を聞く。

○次時の単元について伝える。(T1)

○根拠をもって自分の考えを書いている。

(関心・意欲・態度)

[記述の確認]

自分の考えを書けない場合は、本文を参考にしながら、実際の場面例をあげ、魅力を感じるならどちらかを想起させる。

○筆者の意見と自分の考えを比べて深めている。

(読む能力)

[ワークシートの点検]

筆者の意見と比べられない場合は、どこが同じでどこが違うのかをまとめるようにさせる。

『水の東西』まじのワークシート

一年組 氏名

○教科書で繰り返し対比されてきた「鹿おどし」と「噴水」について、  
あなたはどちらに魅力を感じますか？根拠を持って考えましょ。

①自分の考え

わたしは)

(に魅力を感じます。その理由は、

②グループでまとめた意見

③筆者の意見

④グループの意見と筆者の意見との比較